

募集要項

- 対象 市内在住、在勤、在学の方
全講座を受講できる方
- 定員 35人（定員を超えた場合は抽選）
- 受講料 無料
- 申込期限 7月29日（金）＜必着＞
- 申込方法 右のQRコードから。
または、ハガキかファックスに
①市民環境アカデミー参加
②氏名（ふりがな）
③住所
④電話番号
⑤年齢
をご記入のうえ、下記申込先まで送付してください。



お申し込みはこちらから

問合せ・申込先

春日井市環境部環境政策課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地

TEL：0568-85-6216 FAX:0568-84-8731

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により中止や延期、
内容の変更等の可能性があります。ご了承のうえ、お申し込みください。

令和4年度 春日井市

市民環境アカデミー



市民が家庭や地域での環境活動を率先して実践していくため、
地球温暖化、海洋生態系の保全、エシカル消費など、各分野の
第一線で活躍されている講師陣から幅広く環境について学ぶこと
ができます。

各講座の内容・講師・日程などは中面、募集要項については裏面をご覧ください。







2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向けた

地球温暖化対策の取組みを着実に進めていくため

令和3年6月22日に「ゼロカーボンシティかすがい」を

宣言しました。

令和4年度 春日井市 市民環境アカデミー

日時		会場	タイトル	概要	講師	プロフィール	
1	9/21(水)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	開講式	オリエンテーション	市職員	-	
	10:15~ 10:30		気候変動が永久凍土に及ぼす影響 〈気候変動〉	地球温暖化や気候変動が引き起こす異常気象や生態系への影響は様々なメディアで取り上げられています。北極海の海水やその周囲の大陸に存在する永久凍土も、地球温暖化や気候変動によって刻々と変化しています。 今回の講座では、地球上で最も顕著に温暖化が進行している北極域に着目し、温暖化が北極海の海水やユーラシア大陸の永久凍土にどのように影響するのかを解説します。	名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授 檜山 哲哉	【専門分野】 水文学、気候・気象学、地球環境学 【研究テーマ】 北極域の温暖化に関わる水・炭素循環の変動 【活動等】 一般社団法人水文・水資源学会理事、日本ユネスコ国内委員会科学小委員会調査委員など 【著書】 『環境人間学と地域 シベリア -温暖化する極北の水環境と社会』 (京都大学学術出版会・共編著) ほか	
2	11/11(金)	春日井市役所 11階催事場 (春日井市鳥居松町5-44)	毎日の買い物でよりよい社会をつくる 〈エシカル消費〉	エシカル消費とは、消費者それぞれが社会的課題の解決に向けて考えたり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行ったりすることをいいます。環境問題が深刻な昨今では、人や社会、環境に配慮した消費行動を行うことの重要性が増してきています。 今回の講座は、普段の買い物を通して環境に及ぼす影響や、気を付けたいポイントについて解説します。	NPO法人環境市民フェロー 有川 真理子	【活動等】 オーガニック食品会社で商品企画、広報を経験。 NPO法人環境市民にて、グリーン購入、エシカル消費、グリーンウォッシュに関わる事業のコーディネーター及び広報を担当。 現在はサステナビリティやエシカル消費に関する広報・PR戦略の立案、実行支援、ライティングなどを行っている。	
3	11/25(金)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	海洋生態系の保全と国際社会 〈海洋生態系の保全〉	海は切れ目なくつながっていますが、実際には200カイリ排他的経済水域 (EEZ) をはじめとする多様な政治的境界線が引かれ、海洋資源の囲い込みが行われています。海洋の生物・鉱物資源やそれを取り巻く海洋生態系は、政治的境界線とは無関係に存在するため、国家間で紛争が生じます。 今回の講座では、国際社会は海洋生態系をどのように保全しようとしているのか、SDGsにも触れながら解説します。	中部大学 国際関係学部 国際学科 教授 加々美 康彦	【専門分野】 海洋法、海洋政策 【研究テーマ】 海洋保護区、海洋境界画定、太平洋島嶼国 【活動等】 太平洋諸島学会理事、IOI国際海洋研究所日本支部長など 【著書】 『海洋保全生態学』 (講談社・共編著) ほか	
4	12/10(土)	東部市民センター (春日井市中央台2丁目2番地1)	南極の料理人が見た、地球の環境異常とは？ ～閉鎖空間での人付き合い術とメンタル維持はいかに！～ 〈地球温暖化・ごみ減量〉	最低気温マイナス30度以下、雪と氷に閉ざされた厳しい環境の中で、地球環境の解明のために南極で観測活動を行う「南極地域観測隊」。その調理担当は、隊員の食と健康を守りつつ、限られた食材で隊員のメンタルを維持します。 今回の講座は、2度の観測隊での経験から、地球環境の為のゴミの削減と分別についてもお話しします。	Bar de 南極料理人 Mirai オーナーシェフ 篠原 洋一	幼少期より、「食と旅」に興味を持ち、料理人の道に入る。 その後、オーロラに惹かれ第33次南極地域観測隊で南極行を実現。 帰国後、「飛鳥」「飛鳥II」に和食調理人として乗船し、世界9周・約70カ国200都市を14年で巡る。2008年、第50次南極地域観測隊に再び参加。現在、「旅する南極の料理人」として多方面で活躍している。	
5	1/17(火)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	グリーンイノベーションを創造する材料技術 〈環境技術〉	日本では2050年にカーボンニュートラルを達成することが目標として掲げられ、春日井市においても「ゼロカーボンシティかすがい」が宣言されました。その目標を達成するためには、技術開発や社会システムの変革などを用いて環境問題に取り組む「グリーンイノベーション」が欠かせません。 今回の講座は、様々な分野で利用される新素材・新材料やその開発に伴う技術革新を通して、どのように環境問題に貢献できるのかについて解説します。	名城大学理工学部 材料機能工学科 教授 岩谷 素顕	【専門分野】 半導体工学、結晶工学、半導体デバイス 卒業研究時から青色LEDの発明で2014年ノーベル物理学賞受賞者の故赤崎勇終身教授及び天野浩教授のもと、窒化物半導体材料を用いた光デバイスをはじめとした新機能デバイスに関する研究を行っている。	
6	2/8(水)	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	協働の可能性と課題 〈環境活動〉	様々な組織や人々が協力して共通の目標に向かって活動する「協働」は、パートナーシップとも呼ばれ、環境問題における1つのキーワードとなっています。多様な主体が対等な立場で参加し、議論しながら解決に向かう、そんな社会のあり方が求められています。 最終回となる今回の講座は、環境問題、そして持続可能な社会づくりに向けて、協働の持つ可能性や実現への課題について解説します。	日本福祉大学 国際福祉開発学部 特任教授 千頭 聡	【専門分野】 環境政策、持続可能な地域づくり 岐阜県中津川市加子母地区や長野県宮田村をはじめ、いろいろな地域で学生とともに、持続可能な地域づくりやSDGsについて調査研究を実施中。また、ラオスの焼畑地域で社会開発の進め方についても研究中。行政・企業・NPOなどの協働の現場にも数多く参画している。	
			15:45~ 16:15	閉講式	修了証交付	市職員	-

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等により中止や延期、内容の変更等の可能性があります。